【千葉総局】千葉市中央区新田町5-10 わかちく千葉ビル ☎043-203-8171
【東京本社】港区東新橋2-6-6 汐留AZビル ☎03-5733-2740
【水戸総局】水戸市南町2-5-24 榎沢本店ビル ☎029-227-4551
【宇都宮総局】宇都宮市本町9-12 亀田ビル ☎028-622-8111
【仙台総局】仙台市青葉区上杉1-6-10 EARTH BLUE 仙台勾当台 ☎022-221-9211
ホームページアドレス http://www.jcpress.co.jp
メールアドレス jcp-chiba@jcpress.co.jp

千葉 全県版

日刊建設新聞

The Nikkan Kensetsu Shimbun

©日本建設新聞社（令和5年）（昭和41年11月16日 第3種郵便物認可）
日刊（日、月、祝日休刊）

5月24日水曜日
2023年 第14104号

発行所 日本建設新聞社
千葉市中央区新田町5-10
電話 043-203-8171
FAX043-203-6658

造園・土木・種子・客土吹付緑化
営業品目＝防砂防水シート・植生土のう 各種芝・土壌改良剤・播種工
フタバ緑化産業株式会社
千葉市稲毛区緑町2—1—10
☎043-243-0451

4車線化など要望採択

期成同盟会が通常総会

東関道館山線

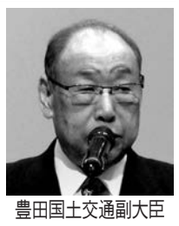
東関東自動車道館山線建設促進期成同盟会（会長・熊谷俊人知事）の通常総会が23日、千葉市内で開かれた。館山線の一部を構成する富津館山道路の早期4車線化など6項目を求める要望書を採択。夏ごろに政府や国会など関係機関に対して要望活動を展開する予定だ。

この期成同盟会は、県と沿線市町11団体で構成。東関東自動車道館山線の整備に向け、政府や国会への陳情・請願、関連幹線道路の一体的な整備促進に取り組んでいる。

千葉市内で開かれた通常総会

穴澤副知事

穴澤幸男副知事は、南房総市富浦までの全線4車線化や、富浦ICと館山市を結ぶ国道127号館富トンネルを含む川名・富浦地区の早期4車化に全力で取り組んでいくと考えを示した。


豊田国土交通副大臣

来賓として駆け付けた豊田俊郎国土交通副大臣は、暫定2車線区間を4車線化することの必要性を訴え、予算確保に向けて取り組んでいくことを表明。猪口邦子参院議員や山本義一県議会副議長も協力する考えを示した。

議事では2023年度事業計画・予算案など3議案が原案通り了承された。役員改選では、会長に熊谷知事、副会長に森正一館山市長、石井宏子君津市長、池口正晃県土整備部長が就任。森副会長が要望書案を読み上げ、採択することが決まった。

富津市竹岡～南房総市富浦間の延長19・2㎞は、一般国道の自動車専用道路「富津館山道路」として、暫定2車線で供用している。19年3月に富津竹岡IC～富津金谷IC間の一部区間3・4㎞で、NEXCO東日本による付加車線設置が事業認可された。

国土交通省道路局が公表した「高速道路における安全・安心基本計画」では、全線が4車線化の優先整備区間に選定された。観光振興や防災力の向上のためにも、早期の4車線化が必要不可欠となっている。

要望事項は次の通り。

▽東関東自動車道館山線の一部を構成する富津館山道路について、早期の4車線化を図ること

▽東関東自動車道館山線の富浦から館山までについては、計画の具体化を図ること

▽富津館山道路の終点部である富浦ICから館山市内までの国道127号の館富トンネルを含む川名・富浦地区について、早期の4車線化を図ること

▽「アクアライン割引」に必要な予算を確保すること

▽防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後も、国土強靭化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと

▽道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算全体を増額し、必要な予算を確保すること

大成・笹原JVらに感謝状

長南町 新庁舎の完成記念式典

完成した町役場新庁舎

長南町の新庁舎完成記念式典が23日、開かれた。県議会議員や長生郡内市町村の首長・議会議員など多数の来賓が駆け付け、新たな防災拠点の完成を盛大に祝った。平野貞夫町長は、施工者の大成建設・笹原工務店JVらに感謝状を贈呈し、これまでの尽力をたたえた。

川田統括営業部長（大成建設）

平野町長

平野町は、ユニバーサルデザインを導入し、環境性能にも優れ、災害対策を取り入れた、住民の安全を守る防災拠点としての役割を果たす新庁舎が完成したことを報告し、設計・施工関係者らに感謝の意を表した。

▲記念式典には多数の来賓が駆け付けた

来賓を代表して、酒井茂英県議や田中豊彦茂原市長、長生郡町村会副会長の馬淵昌也一宮町長、長生郡町村議会議長会長の古坂勇人長柄町議会議長が祝辞を述べた。

新庁舎の完成に貢献した▽千町村建築研究所▽大成建設千葉支店▽笹原工務店▽千葉測器▽大谷家具製作所▽合同資源――の6社に対し、感謝状を手渡した。

平野町長㊨が工事関係者らに感謝状を贈呈

大成建設千葉支店の川田貴也統括営業部長は「コロナ禍やウクライナ侵攻の影響により、建設資材の高騰・不足など厳しい状況のなか、工期内に無事故・無災害で竣工でき、大変うれしい」と喜びを語った。

新庁舎は、庁舎分館（保健センター）の西側に建設した。施設の構造・規模はRC造一部S造3階建て延べ2268㎡となっている。

1階に会計課や税務住民課、福祉課、健康保険課、2階に町長室や副町長室、総務課、企画財政課、防災室、3階に議場など議会関連諸室をそれぞれ配置した。

防災拠点としての機能を備え、耐震安全性を確保し、緊急時にも対応できるよう発電機を設置。太陽光発電や蓄電池を備え、維持費の軽減を図っている。

多目的トイレやエレベーターを設置し、誰もが使いやすいユニバーサルデザインを導入。内部壁面に抗ウイルス内装材を使用し、感染症対策を講じている。

旧役場庁舎は1972年に完成した施設で築50年が経過。耐震診断の結果、耐震強度が不足しており、防災拠点として安全性を確保するため、早急な対応が求められていた。

県交通安全施設業協組 増田理事長が再任

実りある活動目指す

増田理事長

新役員で組合運営に臨む

県交通安全施設業協同組合は19日、千葉市内で2023年度の通常総会を開いた。議事では3議案が審議され、このうち任期満了に伴う役員改選では、現理事長の増田孝氏（増田産業）の再任が決議された。増田理事長は「2期目となるが、新たな気持ちで取り組む。今までの活動を継続して実りあるものにしたい」と述べ、組合員にさらなる協力を求めた。

22年度の事業報告では、コロナやロシア・ウクライナ情勢など厳しい状況の中、発注機関への陳情や道路整備のボランティア活動など、例年通りの活動ができたことに満足感を表した。

23年度の事業計画では重点施策として、①教育情報に関する事業②受注機会の拡大③道路環境整備の地域貢献活動④千葉県誕生150周年記念事業への積極的な協力⑤福利厚生に関する事業――の5つを挙げている。

具体的には、組合員の経営管理や従業員の施工技術向上を目的に、有識者を招いて講習会を開くほか、異業種間交流を通じて有意義な情報収集を図るとしている。例年行われる路面標示技能士の講習も開催する予定だ。

また交通安全施設関係事業費や修繕費の確保・増額や、第2期銚子連絡道路（横芝―匝瑳間）をはじめ、標識、区画線、防護柵などの分離発注を引き続き発注機関に要望するほか、通学路の点検を踏まえてキッズゾーンの整備を促進する。

苦労を振り返る前松氏

県内主要道路を対象としたカーブミラーや道路標識の清掃・点検などボランティア活動を計画的に継続することに加え、県誕生150周年の広報活動への協力として、組合員の事業所でポスターなどを掲示する。また通学路にカラーイラスト付き溶融シートを施工することで、交通安全啓発と通学路の安全確保に協力する意向だ。

知事功労を受けた大沼氏㊨

当日は併せて、昨年12月の第53回県職業能力推進大会で、技能検定功労者として熊谷俊人知事から感謝状の贈呈を受けた大沼秀人氏（日本ラインサービス）と、同組合の前身となる県交通安全施設業協会から、35年にわたって貢献してきた前松一郎氏（千葉ライナー）が功労をたたえられ、増田理事長から賞状を手渡された。

新役員は次の通り（敬称略）。

▽理事長＝増田孝（増田産業）

▽副理事長＝黒川裕二（アクセス）、前田慎太郎（道標）

▽専務理事＝金子鉄也（県交通安全施設業協同組合）

▽筆頭理事＝白鳥和重（サンエイロテック）

千葉NTに貸事務所倉庫

設計施工は日本技研建設

日本地所倉庫

日本地所倉庫（岡山市北区）が、千葉ニュータウン・印西牧の原エリアで、S造2階建て延べ528㎡の貸事務所倉庫（建設機械レンタル・リース）を建設する。設計施工は、グループ会社の日本技研建設（岡山市北区）が担当。10月に着工、2024年5月の完成を目指す。

建設予定地は、印西市の大型店舗が立地している。

建築面積は481㎡、高さは10・50mを見込む。

北千葉道路そばの建設予定地

西の原5-13-2。敷地面積は4958㎡（実測）。北千葉道路に近く、東側には「コスモス西の原店」が隣接、周囲には「ファッションセンターしまむら牧の原店」など

きょうの紙面

業界公告

2団体が通常総会開催

成田で橋梁の上部工事（県北千葉道路建設）

入札

保育園建築を平山建設（成田市）

6 32

入落ナビは、こちらからQRコード

ドローン産業セミナー 千葉市

6月27日に幕張メッセ

千葉市は6月27日、ドローン産業セミナーを千葉市美浜区の幕張メッセで開催する。産業用ドローンの利活用に関心のある民間事業者や行政関係者が対象で、定員は160人。参加費は無料だが、事前の申し込みが必要。6月20日まで受け付けている。

このセミナーは、ドローン活用を推進し、ドローン関連産業の振興を図ることが狙い。幕張メッセで開催されるドローン見本市「ジャパンドローン2023／次世代エアモビリティEXPO2023」と同時開催となる。

昨年度開催したセミナーの様子

第1部では、日本ドローンコンソーシアム会長で千葉大学名誉教授の野波健蔵氏が「世界と日本のドローン産業動向と展望」をテーマに基調講演。千葉市の国家戦略特区推進課と県経済政策課政策室が自治体の取り組みを紹介する。

民間事業者による事例紹介では、住友重機械建機クレーンが「ドローン自動飛行によるクローラクレーンの外観点検」、アイ・ディー・エーが「水中ドローンによる橋脚基礎部の河床状況調査」、千葉都市モノレールとトーニチコンサルタントが「懸垂型モノレール軌道桁のドローン点検」について、それぞれ講演する。

第2部ではドローン相談会を開く。ドローンの活用に関するさまざまな相談を受け付けることで、受発注機会をつくり、関連産業の振興につなげたい考えだ。

会場は幕張メッセ国際会議場201会議室。開催時間は午後1時から4時50分まで。参加希望者は、ちばの電子申請サービスから申し込む。応募者が多数の場合は抽選となる。

〈平成17年9月26日〉千葉県知事認可

千葉県交通安全施設業協同組合

〒260-0855 千葉市中央区市場町2-13（自由民主会館306号） ☎043-227-9226㈹ FAX043-227-7256

理事長 増田 孝 副理事長 黒川 裕二 副理事長 前田 慎太郎 専務理事 金子 鉄也

正会員 25社

株式会社アクセス
アジアテック株式会社
亀田産業株式会社
株式会社クニハル
コーツー保安工業株式会社
株式会社サンエイロテック
株式会社サン企画
株式会社ジーニアス
株式会社セイフティ
千都グリーン工業株式会社
株式会社ダイリン
千葉ライナー株式会社
東総工業株式会社
株式会社道標
日鉄防食株式会社
日本ラインサービス株式会社
株式会社日本ロード
林産業株式会社
北総産業株式会社
増田産業株式会社
丸栄産業株式会社
株式会社明成
森川産業株式会社
八富企業株式会社
山十道路株式会社

賛助会員 10社

アトミクス株式会社
AAGエンジニアリング株式会社
信号器材株式会社
神東塗料株式会社
日軽エンジニアリング株式会社
株式会社星光商会
大光ルート産業株式会社
日進化成株式会社
日本カーバイド工業株式会社
株式会社日本都市